

とから、生産者には必然的に生産方法の見直しと新たな開発努力が求められます。活動はこれらに合致した会員生産者がテーマそのものの開発者として参加し、らでいっしゅぼーやとの緊密な連携により推進されました。その結果、具体的な方法論が共有され、テーマを体現した生産物がらでいっしゅぼーや会員の食卓に上り始めました。

#### ●有機JAS認証取得の支援

有機畜産全体の取り組みとして2004年から2005年までに、日本オーガニック農産物協会副理事長・有福雄一氏による“有機JAS講習会”を、主に北海道の乳牛・肉牛生産者を対象に計3回開催。また、2004年度には国内初となるオーガニック放牧豚の準備として、北海道三石町での研修会を開催しました。この間有機畜産を推進する生産者と共に欧州有機畜産農場(2005年2月)やオーガニック放牧豚生産農場(カナダ)を視察しました。2006年有機畜産のJAS法制化を前にし、以上をもって畜産部会での3年間の取り組みを完結しました。

#### ●飼料国産化の取り組み

2005年度からは北海道を舞台として飼料国産化の取り組みを開始しました。北海道・東北の試験場(北海道農業研究センター・北海道畜産試験場新得農場)や研究機関(帯広畜産大学・北里大学八雲農場・東北農業研究センター・岩手畜産試験場)地元の飼料メーカーを視察しました。9月の飼料自給会議を経て、11月から足寄町(北十勝ファーム)、12月からえりも町(えりもビーフ)での飼料自給試験(肉牛)を開始しました。この取り組みは2006年度に引き継がれます。

#### ●フェアトレード飼料の取り組み

現在会員団体3者が飼料として供給を受けているフィリピン・リトルタジャン村の有機トウモロコシ生産者との取り組みについて、その関係継承と交流を目的として2004年9月に視察を行いました。毎年1回の交流を図る方針で2005年度の視察も計画しましたが、国

内の鶏インフルエンザの影響等により中止となり、改めて2006年3月に実施する予定となっています。

#### ●堆肥作り勉強会

2004年6月と12月の2回、北海道富良野市と三石町にて、畜産農家の主催する堆肥作り勉強会を開催しました。いずれも農産生産者の参加協力を得て、第1回は農産生産者・坂東俊和さんの堆肥舎、第2回目は小祝氏の指導を仰いでオーガニック放牧豚生産者・猪野毛さんの堆肥舎を勉強し、畜産生産者の考える堆肥と農産生産者の求める堆肥との違いや、堆肥化の技術について学びました。

#### 【食品・交流部会】

食品部会、交流部会の2部会を2004年度より統合しスタートした食品・交流部会は、これまで主流としてきた各種の助成・協賛の活動から、スローフード運動への参画・らでいっしゅ村・かあちゃん若者集会・出前研修など、交流部会で直接企画し推進・運営する、具体的かつ積極的な取り組みが育ちつつあります。

#### ●スローフード運動

2004年度、Radixの会はイタリア・スローフード協会国際本部の招聘を受け、協会初となる生産者参加の国際会議“テッラ・マドレ(母なる大地)”に呼応し、国内生産者呼びかけに協力すると共に、全国10名の会員生産者を会議に動員、イタリア各地の食状況、生産状況を視察してきました。2005年度は日本茶の取り組みの一環として同協会理事を静岡の会員生産者ほ場を紹介、らでいっしゅぼーやとの連携のもと、木原義行氏(Radixの会元顧問)を呼びかけ世話人とする“一園逸茶”の取り組みを開始しました。同協会は2004年6月、国内代表組織となるスローフードジャパン(事務局・宮城県仙台市)を発足し、2005年12月、失われつつある食材を守り育てる運動“味の箱舟”プロジェクトを始

動しました。この第1回選定食材には、短角牛(北海道・岩手)や雲仙こぶ高菜(長崎県)も含まれています。

#### ●らでいっしゅ村(仮称)

2002年度のえりも、2003年度の出雲以降、らでいっしゅ村は2004年度、その運営方法を模索する時期でした。その結果として提案された方法が“自由形個人旅行”という考え方にまとまり、2005年度にはらでいっしゅぼーや会員を対象にした参加募集パンフの発行が方向付けられました。自由形個人旅行は日時指定のバックツアーではありません。参加者はパンフを見て随時自分の希望をカスタマイズする。受け入れ側の生産者は農作業などの事情を加味して受け入れ可能な条件を提示する。これではツアーにならない?と思いきや、事務局が双方の希望を結ぶための調整役となり、晴れて“どこにもない、らでいっしゅならではの個人旅行”が完成します。この考え方で、今年度は対象産地の事前調査を進め、募集パンフの作成を進めました。募集開始は2006年3月を予定しています。

このほか2005年度は9月に八重山自然体験ツアーを主催しました。

#### ●かあちゃん・若者集会

2003年度に東北ブロックにてスタートした“かあちゃん集会”は、2004年度に東北(山形県南陽市)、北海道(北海道札幌市)、WEST(大阪府池田市)の3回を開催。2005年度は九州(熊本県水俣市)にて開催しました。どの開催も温泉地で“お互い知り合うこと”に重点を置き、和やかな雰囲気の中、ゆっくりと盛り上がりました。のべ参加女性61名。運転手として、または気になって参加した男性約40名。

“若者集会”は2004年度の東北ブロックでの開催が初回(岩手県遠野市)。同年九州にて予定された若者集会はあいにくの台風上陸で中止、2005年度にリベンジ(熊本県八代市)し、大盛況でした。同年の東北若者集会は山形・庄内で開催されました。男女別なく40歳